

2018 年度ゼミ活動紹介

第 15 期ゼミ長 合場 将貴

小野晃典研究会 OB・OG の皆様，初めまして，第 15 期ゼミ長の合場将貴と申します。この度は，OB・OG 会誌を通して，皆様にご挨拶できることを心から嬉しく思っております。振り返ってみると，1 年間を通して，様々な機会に OB・OG の皆様と交流することができ，OB・OG の皆様にご協力いただいたおかげで，本年度も非常に有意義なゼミ活動にすることができました。今後とも変わらぬご支援の程，どうぞ宜しくお願い致します。

さて，私からは，2018 年度のゼミ活動について，簡単にではありますが，皆様にお伝えしたいと思います。

まず初めに，各期の活動を簡単にご紹介したいと思います。3 年生にあたる第 16 期生は，基礎文献レポートや多変量解析技法レポートを通して，マーケティングを学ぶ上で必要となる知識をインプットすると共に，ディベートやケース・メソッド，三田祭論文執筆などを通して，それらの知識をアウトプットすることに励みました。また，有志活動としてビジネスプランコンテストなどにも積極的に参加しました。さらに，役職の決定後には，先輩から仕事を教わりながら，ゼミ運営にも携わりました。4 年生にあたる第 15 期生は，この 1 年間，自身の卒業論文執筆をはじめ，多変量解析技法のレクチャー，各役職の引継ぎ，三田祭論文の添削など，後輩指導も積極的に行って参りました。

次に，今年度に行われた主な活動につきまして，時系列に沿って振り返りながらご紹介したいと思います。

2018 年 4 月下旬には，山梨県南都留郡のレイクホテル西湖にて，春合宿を実施いたしました。初日は，高速バスに揺られ山中湖駅まで向かい，ほうとうに舌鼓を打ちました。ホテルに到着すると，インカレディベートに向けての準備や，小野先生を囲んでの懇親会が開催されました。翌日は，スポーツ企画を行い，後輩である第 16 期生や，大学院生との親睦を深めました。

5 月中旬には，関西大学千葉貴宏ゼミナール，および立命館大学菊盛真衣ゼミナールと共に，第 10 回目にあたるインカレディベート大会を実施いたしました。当大会に出場した第 16 期生は，日頃のゼミ活動で鍛えた成果を遺憾なく発揮しました。対菊盛ゼミ戦は，僅差での勝利となりましたが，結果としては，見事 2 戦 2 勝という結果を収めました。

9 月中旬には，千葉県長生郡のホテル東天光にて夏合宿が行われました。第 15 期生は卒業論文を，第 16 期生は三田祭論文の執筆に真剣に取り組みました。また，夏合宿の目玉である夏ケースのテーマは，「パナソニックのスポーツサイクル」でした。小野先生が，完成度の高い夏ケース資料を解題して下さったた



め、私たち現役ゼミ生もその努力に応えるためにも、夜を徹して真剣に取り組みました。

10月上旬には、慶應義塾大学の高橋郁夫ゼミナールと高田英亮ゼミナールと共に、第8回目にあたる3ゼミ合同三田祭論文中間発表会を実施いたしました。高田先生が、在外研究からお戻りになり、ゼミが再開したため、3年ぶりに3ゼミでの開催の運びとなりました。小野ゼミからは、第16期生の関マケチームが共に出場し、高橋郁夫先生、高田英亮先生や、大学院生の方々から大変有意義なコメントやアドバイスを頂きました。

また、同時期に、関西大学にて開催された関西大学ビジネスプラン・コンペティションに、第16期生の有志2名が出場し、惜しくも入賞は逃したものの、企業賞を獲得するという見事な結果を残しました。

11月中旬には、三田祭期間中にマーケティングゼミ合同研究報告会が開催されました。小野ゼミからは、第16期生の関マケチームが出場しました。発表した研究テーマは「広告集積に対する消費者の反応——視覚的複雑性に着目して——」でした。この関マケチームは、マーケティングゼミ合同研究報告会の翌日に開催された、立教大学にて開催された関東学生マーケティング大会（旧関東十ゼミ討論会）にも出場しました。本大会は実務的含意が重要視される大会であったため、発表資料やプレゼン内容を十二分に練ってプレゼンに臨みました。結果としては、論文賞・プレゼン賞の両方において3位という結果を手にしました。惜しくも総合賞こそ逃してしまったものの、半年間心血注いで執筆した論文が評価されたと自負しております。



関マケの表彰式にて



小野先生を交えて、インゼミチームの集合写真

12月中旬には、神戸市外国語大学にて開催された全国大学生マーケティング・コンペティションに、第15期生と第16期生の有志4名が出場し、惜しくも賞は逃したものの、第12期以降の決勝大会連続進出記録を死守しました。

12月下旬には、四分野インゼミ研究報告会が開催されました。本報告会には、経営、会計、商業、経済・産業の4つの分野から8つのゼミが集まり、それぞれの研究成果を発表しました。小野ゼミからは、インゼミチームが出場しました。発表した研究テーマは「マス・カスタマイゼーションにおけるジルト効果——魅力的な製品を諦めた消費者のブランドスイッチについて——」でした。本報告会のために発表資料を作り上げ、研究成果を聴衆に納得させる見事なプレゼンを披露しました。

そして、今年度も小野ゼミは、国内に留まらず、国際学会においても積極的に学会発表を行いました。2018年7月下旬には、第15期英語論文チームが、東京のホテルニューオータニで開催された Global Marketing Conference に参加しました。“Three Kind of Anthropomorphized Brands and Consumer Preference: Mediating Effects of Instrumental and Terminal Materialism”という擬人化ブランドをテーマにした論文を発表し、海外のマーケティング研究者から称賛の声を頂くことができました。

11月初旬には、第16期生が、韓国で開催された Korean Scholars of Marketing Science に、同期全員で参加するという初めての試みを行いました。まず、初日に開催された学会本編には、インゼミチームが“Jilting Effect in Customization Systems Caused by Mass Confusion”というマス・カスタマイゼーションをテーマにした論文を、2日目に開催されたシンポジウムには、関マケチームが“The Effects of Visual Complexity on



KSMS での集合写真（延世大学にて）

Consumer Response to the Cluster of Ads” という広告集積をテーマにした論文を発表しました。両チームとも初めての国際学会でしたが、それを感じさせぬほど堂々と発表しておりました。

さらに、今年度も小野ゼミの研究は、学内においても高い評価を獲得することができました。12月下旬には、第15期生の竹田光志くんと私、合場将貴が、慶應義塾大学商学会賞を受賞致しました。この受賞内定により、小野ゼミは、ゼミ再開後、途絶えることなく11年連続で受賞者を輩出したこととなります。

今年度も、こうして実りのあるゼミ活動ができたのは、OB・OGの皆様の支えがあったからこそだと思います。そこで、この場をお借りして、今年度お世話になったOB・OGの皆様をご紹介させて頂くと共に、感謝の言葉を述べさせていただきます。

2018年3月14日の入ゼミ選考会の後に開催された、第16期生歓迎コンパに、横山嵩先輩（第3期）、氏田宗利先輩（第7期）、梶田伸吾先輩（第12期）、江黒夕夏先輩（第14期）、ならびに佐藤祐菜先輩がご参加くださり、現役ゼミ生と共に、第16期生の入会をお祝いしてくださいました。ありがとうございました。

4月13日に開催された、2018年度初の本ゼミに、白木俊介先輩（第1期）がご参加くださり、ご講演してくださいました。また、その後に行われた懇親会に、井上貴晴先輩、酒井誠太郎先輩、ならびに勝木啓太先輩がご参加くださいました。ありがとうございました。

5月19日に開催されたインカレディベートに、千葉貴宏先輩（第5期）と菊盛真衣先輩（第7期）が、ご自身が持たれているゼミの指導教授として参加されました。また、その後に行われた懇親会に、佐藤和也先輩（第11期）、梶田伸吾先輩（第12期）、井上雄哉先輩（第13期）、長妻泰成先輩、山本彩理先輩、

ならびに佐藤祐菜先輩（第14期）がご参加くださいました。ありがとうございました。

7月13日の本ゼミ後に開催された前期納会に、白石秀壽先輩（第9期大学院生）、荒井 礼先輩（第12期）、松山峻典先輩、長妻泰成先輩（第13期）、山本彩理先輩、ならびに佐藤祐菜先輩（第14期生）がご参加くださいました。ありがとうございました。

10月23日の第2回入ゼミ説明会に、佐藤和也先輩（第11期）と小平紘子先輩がお越しください、差し入れをしてくださいました。ありがとうございました。

11月22日～25日の三田祭期間には、高木研太郎先輩（第3期）、白石秀壽先輩（第9期大学院生）、佐藤和也先輩（第11期）、小平紘子先輩、石塚佑飛先輩、荒井 礼先輩（第12期）、北島大輝先輩（同）、中野真衣先輩（第12期）、川村澄明先輩（第13期）、ならびに矢野瑞喜先輩が来訪くださいました。

12月13日の第2回オープンゼミにて、奈良崎亮介先輩（第2期）が、小野ゼミに興味を持つ2年生に向けてご講演してくださいました。お忙しい中、ご講演の依頼を受けてくださり、ありがとうございました。また、その後の懇親会に、奈良崎亮介先輩（第2期）、立松宗磨先輩（第11期）、佐藤和也先輩、ならびに荒井 礼先輩（第12期）が参加してくださいました。ありがとうございました。

1月12日の本ゼミ後に開催された後期納会に、梶田伸吾先輩（第12期）がご参加くださいました。ありがとうございました。

OB・OGの皆様、今年度も、ご多忙のところ、貴重なお時間を割いて小野ゼミの活動にご参加くださり、誠にありがとうございました。このように、私たち現役ゼミ生が、これまで様々な活動に取り組むことができたのは、OB・OGの皆様が築き上げてくださった伝統や実績があったからこそであると、私は強く実感しました。この一年間の活動を通じて、すっかり遅くなった第16期生には、来年度から新たに加わる第17期生とともに、輝かしい伝統を築き上げてこられた先輩方に追いつき追い越せの姿勢で、ゼミを盛り上げてもらいたいと思います。最後になりましたが、全力で活動に取り組む現役生に対して、今後ともご指導ご鞭撻の程を宜しくお願い致します。



2018年度秋学期納会での集合写真（小野ゼミ御用達の「つるの屋」にて）